

『賃銀・価格および利潤』を学ぶ

第14回

四国ブロック

第13章 賃銀を値上げし、またはその値下げを阻止しようとする企ての主要な場合

司会…『賃銀・価格および利潤』の学習も仕上げの段階に入ってきました。

13章のレポーターは香川県協会長の三木政孝さんです。よろしくお願いします。

生産力の変化によって

労働力の価値が変動

三木…労働力の価値は、生活必需品の価値または必需品を生産するに要する労働の分量によって決定されます。次の図の(1)のように、12時間労働を前提として、6シリングの価値を生み出すならば、必需品の価値が3シリ

ングである場合、6時間が必要労働で、残りの6時間が不払労働になり、利潤率は100%となります。

そして(2)のように生産性が減少し、日々の平均的必需品の価格が3シリングから4シリングに騰貴したと仮定すれば、労働力の価値も増大し、利潤率は50%となります。そうすると、労働者が現在の3シリングから4シリングへの賃上げを要求しても、それはただ単に、彼の労働の増加した価値を得ようとするものです。そしてその結果、賃金が4シリングになれば、労働の価格は労働力の価値以下に下落

することになり、労働者の生活水準は低下することになります。

ところで、反対に労働の生産性が増加することもあり得ます。(3)のように日々の平均必需品が3シリングから2シリングに下落するかもしれません。すると労働者の絶対的な生活水準は元のままであっても、彼の賃金、そして社会的地位は下落したということになります。その場合は、資本家からの賃下げに抗し、3シリングの賃金を維持しようとしても、それは労働者の社会的地位を維持しようとしていることにすぎません。

◆特集 みんなの学習講座

貨幣価値

金の価値の変動と賃金

次に、必需品の価値または労働の価値が元のままであっても、貨幣の価値が変動する結果として必需品の貨幣価値

価格が2倍になることを意味します。そして労働者の賃金も本来2倍の6シリングになるべきところ、3シリングにとどまるなら、2倍になった生活必需品によって、彼の生活水準はおそろしく低下することになります。

図1 ●生産力の変化による労働力の価値の変動

(1) 基本となる生産

12時間労働

6時間・3シリング (必要労働)	6時間・3シリング (不払労働)
---------------------	---------------------

$$\text{利潤率(剰余価値率)} = \frac{m(\text{剰余価値})}{V(\text{賃金})} = \frac{3}{3} = 100\%$$

(2) 生産性が減少した場合

12時間労働

8時間・4シリング (必要労働)	4時間・2シリング (不払労働)
---------------------	---------------------

$$\text{利潤率(剰余価値率)} = \frac{m(\text{剰余価値})}{V(\text{賃金})} = \frac{2}{4} = 50\%$$

(3) 生産性が増加した場合

12時間労働

4時間・2シリング (必要労働)	8時間・4シリング (不払労働)
---------------------	---------------------

$$\text{利潤率(剰余価値率)} = \frac{m(\text{剰余価値})}{V(\text{賃金})} = \frac{4}{2} = 200\%$$

値に変動

が生じる

場合がある

ります。

豊かな鉱

山の発見

や採掘技術

の進歩

などで2

倍の金が

生産され

ると、金

の価値は

半分にな

り、それ

は商品の

労働日の延長や

労働の強化の増大と賃金

次は労働日の限界の問題です。労働日それ自身は不変の限界を持つてゐるわけではなく、資本の不変的傾向として、労働者が肉体的に可能な最大の長さまで労働日を延長することにあります。

17世紀から18世紀の半ば以降ぐらいまでは、10時間労働日がイギリスにおける標準の労働日でしたが、反ジャコバン戦争の間は、資本は飲めや歌えの底抜け騒ぎをし、労働日は10時間から12時間、14時間、18時間と延長されました。1765年頃の『産業にかんする一論』でも労働日の限界を拡張する必要が堂々と述べられています。あの『恐怖の家』と言われた救貧授産場でさえも12時間であったにも関わらず、それ以上に労働日は延長されたのです。

労働者は自分の労働力を売ることに

よって、この力の消費を資本家に譲り渡す、と言ってもそれは一定の合理的な限界内において可能となります。資本家が1千ポンドの機械を10年使用して生産する場合、諸商品の価値に年々100ポンドを付加して消費していくでしょうが、労働者は機械とは異なり、毎年正確に同じ比率で消耗するわけではありません。勝手にできる自由な時間のない人間、睡眠、食事等生理的な中断は別として、全生涯を資本家のための労働によって奪われる人間は憐れであり、他人の富を生産するための単なる機械のようなものとなってしまう。

工場法が適用されるすべての工業部門では、労働日の限界が定められています。しかし労働の強度を増加することによって、以前に2時間に支出したのと同じ生命力を1時間に支出させることが可能になります。この労働強度の増大に照応する賃金値上げを要求

する労働者の闘争は、単に彼の労働の価値低下および彼の種族の頹廢^{たふは}と抗争しているにすぎないのです。

量産循環における賃金の変動

資本制的生産は、ある種の周期的循環を通して運動します。平静・好転・繁栄・行きすぎ・恐慌および停滞の状態を通しての運動です。全循環を観察してみれば市場価格の変動はそれぞれで相殺され、循環の平均を取れば諸商品の市場価格はそれらの価値によって規制されることがわかります。つまり、労働力についても同様で、一方では商品として取り扱いながら、他方では諸商品の価格を規制する法則から除外せよというのは背理といえます。

結果に対する労働者の闘争

賃金値上げのための闘争は、先行の諸変動に続いてのみ生ずるのであって、生産額・労働の生産諸力・労働の価

値・貨幣の価値・搾り取られる労働の長さ、または強度・需要供給の動揺に依存して、産業循環の種々の段階に照応する市場価格の動揺・先行の諸変動の必然的結果であり、一言で言えば、資本の先行の行動に対する労働の反動であるのです。

労働力の価値は生活必需品の価値、必需品を生産するに要する労働の分量によって決まる

司会…本文では(一)から(五)として、賃上げ闘争の必然性が書かれていますね。おつて討論していきましよう。柳本…まず(一)として、労働力の価値は生活必需品の価値または必需品を生産するに要する労働の分量によって決まるといふ前提から、ここでは生産性が上がった場合と下がった場合の変動についてです。

三木…生産性が下がった場合は、必要労働時間が増え、生活必需品の価値も

◆特集 みんなの学習講座

上がります。そうすると賃上げがなければ、生活が苦しくなります。そもそも賃上げ自体当たり前のことです。逆に生産性が上がった場合は、必要労働時間が減り、生活必需品の価値が下がります。その場合賃金があるままでも彼の労働の価値は相対的に下がったことになり、資本の賃上げに抗するたたいは自身の労働の価値つまり社会的地位を守るたたかいいことになるということが書かれています。

OC…穀物法廃止のことが書かれています。OC…穀物法はイギリス議会で1846年廃止されました。この法は、穀物の輸入を制限ないし禁止することを目的とし、関税をかけるなどで土地貴族の利益を守るために1815年に採用されたものです。穀物法廃止は産業資本家の勝利を意味し、彼らは安い労働力を手に入れるために、穀物法に反対して自由貿易のスローガンを掲げてた

たかったのです。それは「外国から安い穀物が入ってくれば労働者の生活はよくなる」と言って運動をしました。

須藤…生産コストを下げるには労賃と原料の価格を下げることで、穀物法廃止はこの二つを同時にもちたります。

『資本論』では「それは、穀物関税の廃止とともに、イギリスの自由貿易論者の主要目標だったのであって、彼らは何よりもまず、綿花関税をも廃止させることに意を用いたのである。」と書かれています。これにより1846

年以後に資本すなわち資本主義社会が名実ともに支配的体制となったことを意味します。また、マルクスの考え方ですが、一般的には今日では保護貿易制度は保守的であるとし、自由貿易制度は破壊的であるとしました。それは古い民族性を解消し、資本家階級と労働者階級の間の敵対関係を極限にまで推し進める。一言で言えば、通商自由の制度は社会革命を促進するとし、こ

の革命的意義においてのみマルクスは自由貿易に賛成であったのです。

つまり、自由貿易には反対であるが、それがもたらす成果、すなわち歴史の歯車を推し進める点では、ある意味で賛成するが、保護主義はむしろ歴史の歯車を後ろ向きにするので反対するというわけです。

柳本…須藤さんも言われましたが、これによって資本主義は急激に発展します。一方労働者階級への搾取も強くなり、労働者階級としての役割も大きくなります。

貨幣の価値が変動した場合

司会…(二)の貨幣の価値が変動した場合に移ります。レポーターから疑問点がありますか。

三木…96ページ7行目に、貴金属の価値の減少の原因について、金産地の新たな発見や、銀山の作業の改善によつての結果はわかるのですが、「水銀

の安い供給の結果として」という部分は何でしょうか。

I U…「水銀は金の精錬に効率化をもたらす。金を含んだ鉱石や砂利に水銀を混ぜると、水銀と金の合金ができ容易に取り出せるようになる。」とのことです。金の取り出す作業に効率化をもたらした水銀が安く手に入るようになったことで貴金属の価値が減少したということですね。

司会…ここで押さえておくことは、貨幣の価値が変動する結果として必需品の貨幣価値に変動が生じた場合、労働者が抵抗しなければ生存が脅かされ、この現象を資本家は抜け目なく利用するということです。

労働日の限界

司会…次に(三)の労働日の限界についてです。

T U…97ページ冒頭の反ジャコバン戦争の間は、資本は飲めや歌えの底抜

け騒ぎをしたとありますが、どういうことでしょうか。

柳本…ジャコバンはフランス革命時代の急進的革命家です。反ジャコバン戦争とは、革命フランスに対する戦争のことで、敵対するヨーロッパ先進諸国が労働者側に仕掛けた戦争です。1793年にイギリスを皮切りに相次いで続き、その間労働者に対する弾圧が強いられました。

H G…それまでの10時間労働日から、12、14、18時間と延長されたところから、資本が労働者の搾取を強化し、利潤をどんどん上げ、やりたい放題にしたということですね。

T U…97ページ9行目の救貧授産場はどんな役目だったのですか。

須藤…イギリスで労働日の限界を拡張する手段の一つとして、1765年ごろに提案され、路頭に迷うような労働者を一定支援するようなものですね。

T G…派遣村のように一時的なもので

はなく、食わせてやる代わりに過酷な環境で働かせる場所ですね。

K H…失業対策事業と言えば聞こえは良いけど、その実態は違ったということですね。

司会…恐怖の家ですからね。でもそんな場所ですえ労働時間は12時間であつたという比較ですね。

H G…このような労働者が置かれている状況を受けて、1815年ごろにマルサスがこのままでは国民生活は根本的に脅かされるに違いないというパンフレットを出したと。

A D…ここでマルクスは、労働者が労働力売るのは、それを維持するためであつて破壊するためでないといっています。また勝手にできる自由な時間のない全生涯を資本家のための労働によつて奪われる人間は、牛馬よりも憐れであり、身体を壊され、心をケダモノ化された、他人の富を生産するための単なる機械であるとも書いてあり、

◆特集 みんなの学習講座

現在の労働者にも当てはまり、身につまされる思いです。

須藤…この(三)は前回1月号の、資本主義的生産のなかで、支払労働と不払労働により剰余価値を生む仕組みや今回の長時間労働と搾取の強化など重要な部分になります。

司会…ここをしつかり押さえることで、資本主義社会の仕組みがより深く学習できることになり、そうなれば労働者としてのたたかむざるを得ないということになります。

HG…学習からたたかいに転化しないといけないですね。

景気の循環

司会…次に(四)の景気の循環です。説明をよろしくお願いします。

三木…資本主義的生産では、景気により価格の浮き沈みがありますが、長期的に見れば相互に相殺され、価値を中心として平均化されます。景気が悪く

なれば資本家は賃下げを要求しますが、好景気の時には賃上げを拒否します。

それは道理が違ふと労働者は常にとたかつていくべきだということです。

司会…その通りです。そして重要なのは、「価値どおりに支払われなければならない」ということです。下がった時、上がった時それぞれしつかりと賃金要求しなければ平均である価値どおりにはならないということです。不況の時に大きく賃下げされて、好景気の時には不況に備えてなどと言われて賃上げできなければ資本の思うつぼです。須藤…商品は好不況の景気に左右されて価格が変動します。つまり諸商品の価格を規制する法則によつて変動するが、資本家は労働者を雇い、労働力商品として利用するのに、労働者の賃金になるとこの法則から除外して価値から逸脱した賃下げを行おうとする。これはおかしいだろうということです。

KM…労働者は価値どおりの賃金を受

け取るのが当然であるということです。ね。102ページの最後には、もし労働者が資本家の言うままの法則に従つてしまえば、奴隷よりもひどい環境におかれてしまうだろうと書かれています。

結果に対する闘争

司会…では最後の(五)に移ります。

三木…簡単に言えば、賃金値上げのための闘争は、資本の先行の行動に対する労働の反動であるということです。

賃上げをしていくことは必要であるが、現時点で言えばまず、賃上げ闘争は、資本が行った行動の結果に対する反動の行動に過ぎないということです。

OC…それすら今はできていないところが多いですね。

司会…次回最終章14章に、それだけではいけないということが書かれています。